

1. フィールズとは？

■ フィールズとは？

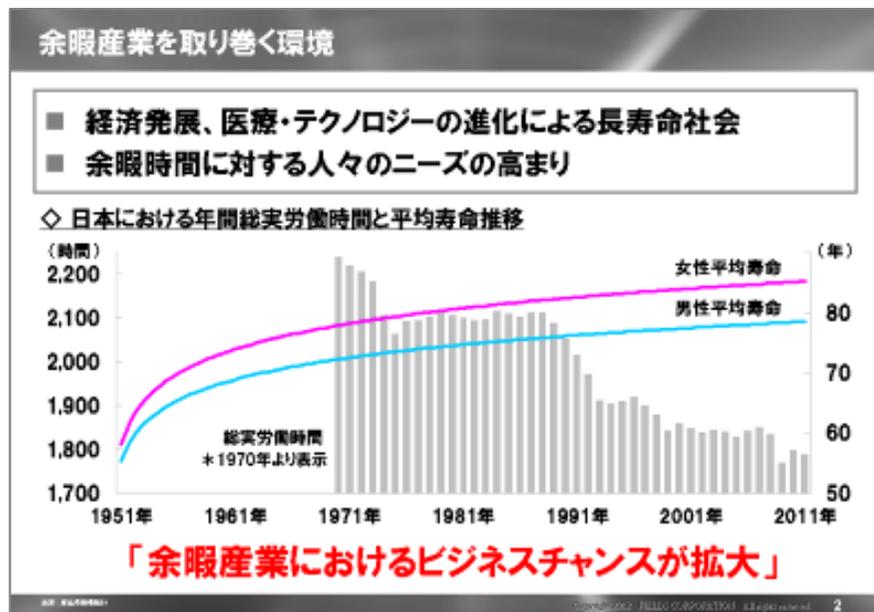


⇒ 説明会資料 1ページ

当社は、「すべての人に最高の余暇を」という企業理念を掲げ、その実現に向け事業活動を推進しています。

現在は、知的財産を中核にしたビジネスモデルへ挑戦することで、より高い成長を目指しています。

■ 余暇産業を取り巻く環境



⇒ 説明会資料 2ページ

左のグラフの通り、経済や医療の発展、テクノロジーの進化によって、日本は長寿命社会となり、人々の余暇時間は増加しました。

当社は、この余暇時間にビジネスチャンスを見出し、エンタテインメント性の高い商品やサービスを提供しています。

1. フィールズとは？

■ 会社概要

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号：フィールズ株式会社

企業理念：すべての人に最高の余暇を

設立：1988年6月

資本金：7,948百万円

上場市場：大阪証券取引所 JASDAQスタンダード(2767)

上場年月：2003年3月

従業員数：1,324名(連結)

関連会社：連結対象企業 16社
持分法適用会社 7社

事業内容：遊技機の企画・開発・販売
知的財産(IP)の企画・開発・販売

主なグループ会社

- コミックス 旗ヒーローズ
- 映像(アニメーション) ルーセント・ピクチャーズ エンタテインメント(株)
- 映像(CG) 旗デジタル・フロンティア
- 映像(知的財産) 旗円谷プロダクション
- モバイル・オンライン 旗フューチャースコープ アイビー・プロ(株)
- パチンコ・パチスロ 旗ビデオ、他

⇒ 説明会資料 3ページ

会社概要は、左表の通りです。
 関連会社はコミックス、映像、アニメーション、モバイル、パチンコ・パチスロなど幅広い分野にわたります。
 事業内容は、主にパチンコ・パチスロ遊技機の企画・開発・販売、知的財産の企画・開発・販売です。

■ 連結業績

連結業績 (単位:億円) ■=過去最高実績

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期 (見直し)
売上高	618	662	816	968	853	1,018	730	663	1,035	921	1,150
営業利益	67	118	120	123	89	131	19	81	131	85	140
経常利益	70	122	124	131	92	117	9	77	136	86	145
当期純利益	35	66	69	70	37	52	△14	32	75	59	73

◇ 連結従業員数推移 (名)

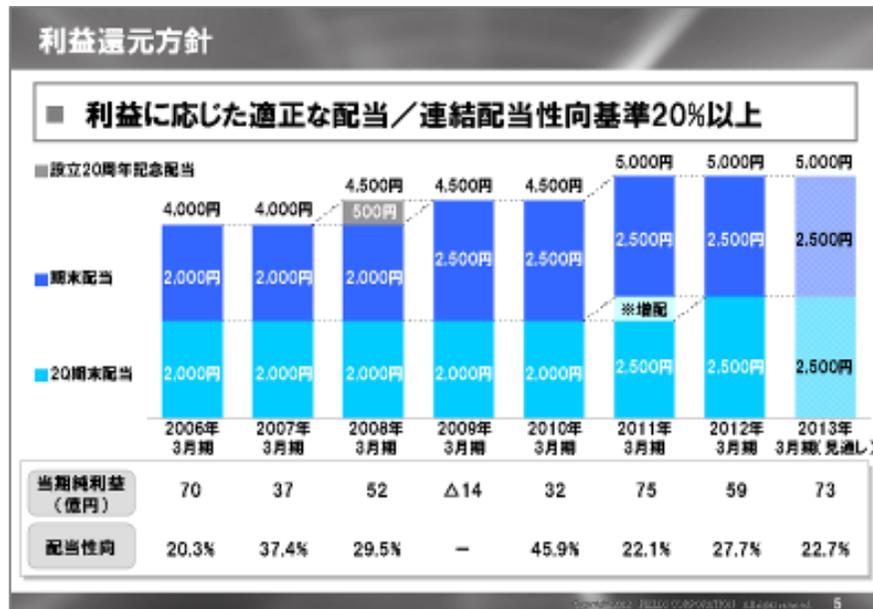
年	従業員数 (名)
2003年 3月	460
2004年 3月	651
2005年 3月	758
2006年 3月	901
2007年 3月	1,022
2008年 3月	1,077
2009年 3月	827
2010年 3月	909
2011年 3月	1,149
2012年 3月	1,324

⇒ 説明会資料 4ページ

上場来の連結業績推移は、左表の通りです。
 営業利益は、上場来約100億円から150億円で推移していますが、今後もう一段高い水準に伸ばさせるため、知的財産を中心にしたビジネスモデルへ挑戦しています。

1. フィールズとは？

■ 利益還元方針



⇒ 説明会資料 5ページ

配当金推移は、左のグラフの通りです。

当社は、利益に応じた適正な配当を基本方針とし、連結配当性向基準を20%以上としています。

2013年3月期の1株当たりの配当金は、年間5,000円を予定しています。

2. フィールズの歩み

■ フィールズの歩み

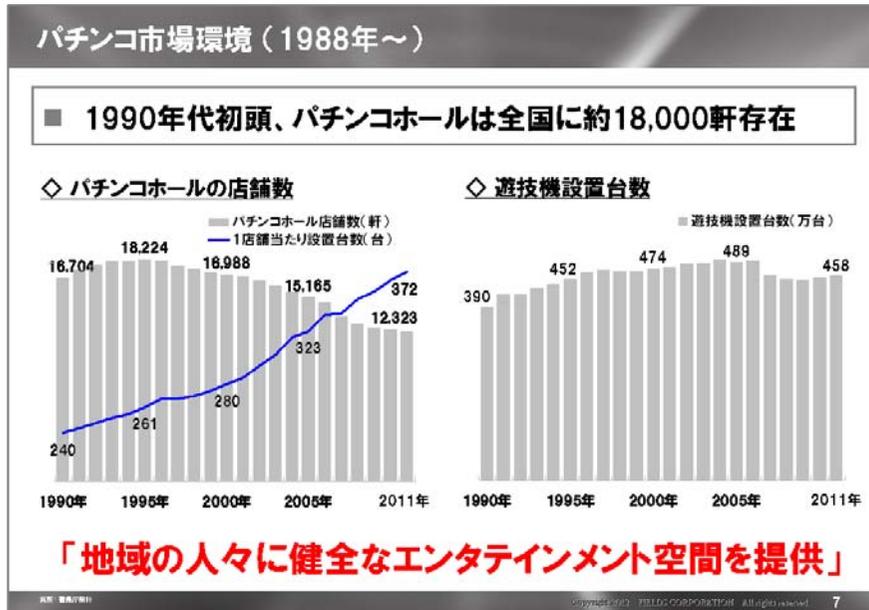


⇒ 説明会資料 6ページ

当社の設立から現在までの歩みをご説明します。

2. フィールズの歩み

■ パチンコ市場環境

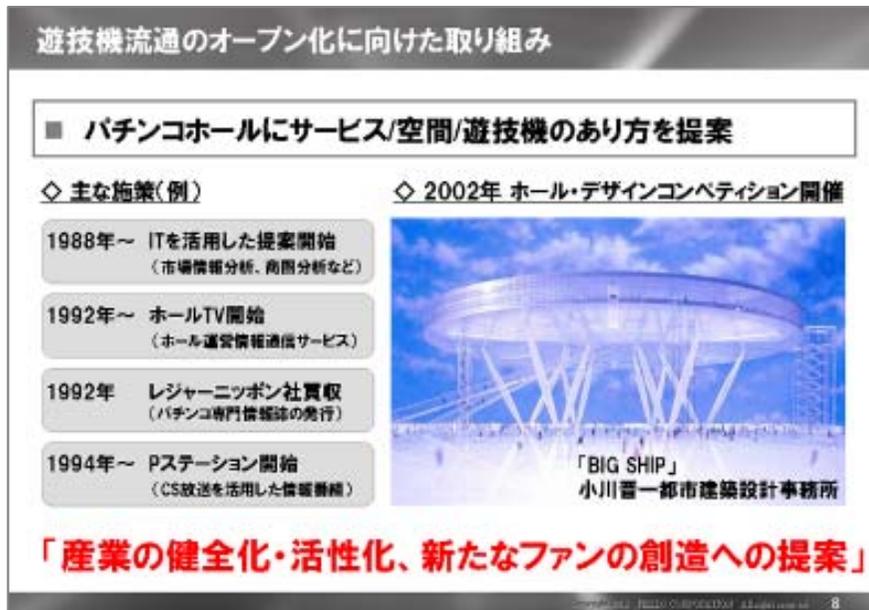


⇒ 説明会資料 7ページ

左のグラフの通り、1990年代初頭は、全国に約18,000軒のパチンコホールが存在し、そのほとんどが駅前の一等地や幹線道路沿いに立地していました。

当社は、1988年の設立から、パチンコホールを多くの人々が楽しめるエンタテインメント空間にするため、様々な提案を行ってきました。

■ 遊技機流通のオープン化に向けた取り組み

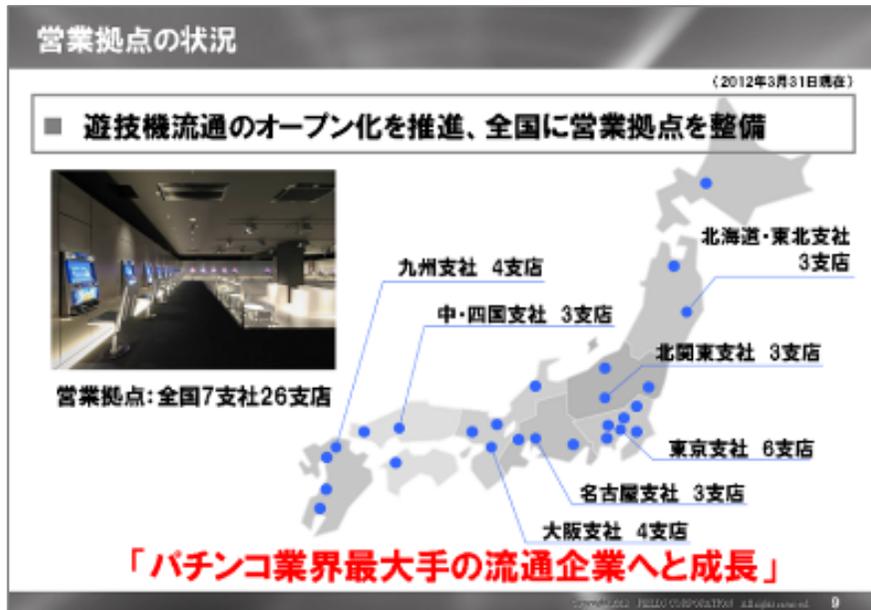


⇒ 説明会資料 8ページ

当社は、流通の立場から全メーカーの遊技機情報を調査し、取引先のパチンコホールに多くの情報を提供しました。同時に、産業全体の健全化や活性化に資する様々な施策にも、積極的に取り組みました。

2. フィールズの歩み

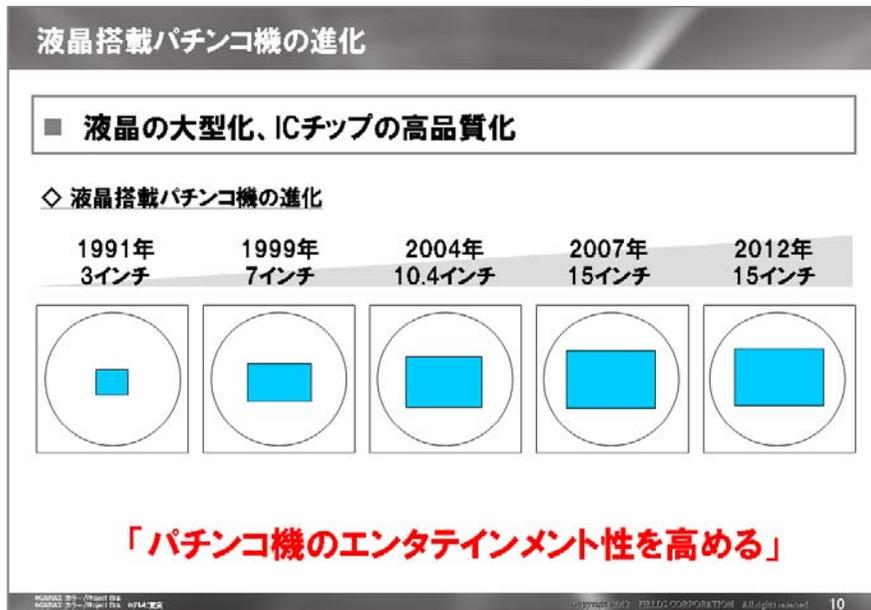
■ 営業拠点の状況



⇒ 説明会資料 9ページ

当社は、全国に7支社26支店の営業拠点を整備しました。各支社・支店は、すべてのメーカーの遊技機を取り扱い、提案型営業として確固たるポジションを築いています。

■ 液晶搭載パチンコ機の進化

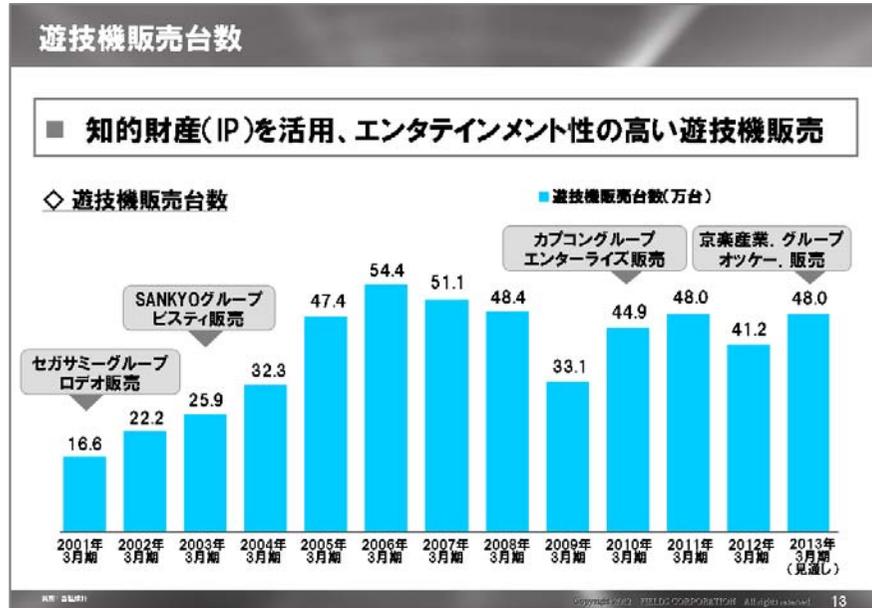


⇒ 説明会資料 10ページ

当社は、遊技機液晶の大型化やICチップの高性能化を予見し、1998年からの10年は、知的財産に積極的に投資するとともに、メーカーとの提携を加速しました。

2. フィールズの歩み

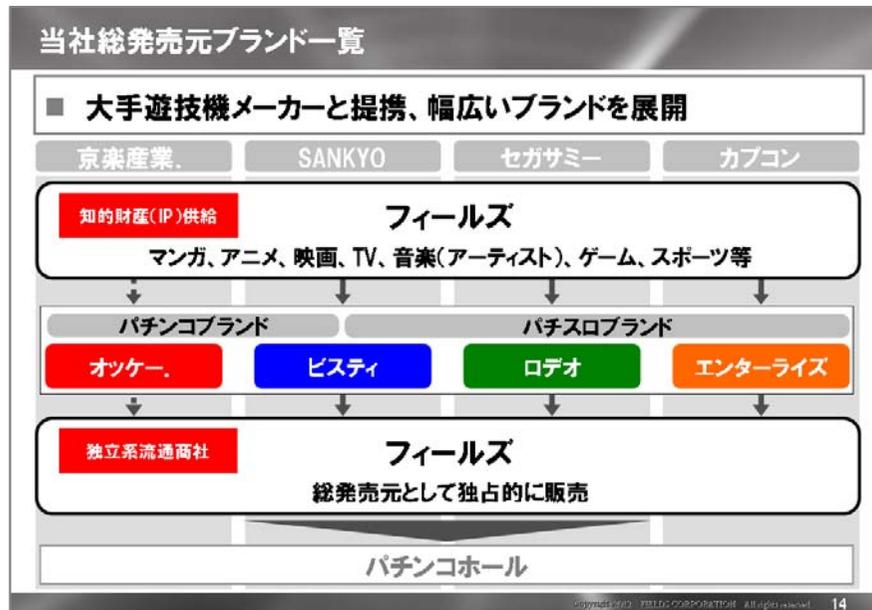
■ 遊技機販売台数



⇒ 説明会資料 13ページ

左のグラフの通り、当社の遊技機販売台数は、2005年3月期以降、年間40万台～50万台の販売となりました。2013年3月期は、48万台の販売を見込んでいます。

■ 当社総発売元ブランド一覧



⇒ 説明会資料 14ページ

左図の通り、当社は大手メーカーと提携し、共同でブランドを展開しています。

当社が保有している商品化権や企画を提携メーカーに提案し、各メーカーが開発・製造、当社が総発売元として販売する独自のスキームです。

□ 各遊技機メーカーと提携ブランド

〔 京楽産業. ⇒ オツケー. / SANKYO ⇒ ビスティ /
セガサミー ⇒ ロデオ / カプコン ⇒ エンターライズ 〕

3. 中長期的な成長に向けて

■ 中長期的な成長に向けて



⇒ 説明会資料 15ページ

当社は、中長期的な成長や発展を遂げるため、知的財産を基軸とした企業へと大きな変化を遂げようと挑戦を続けています。

■ コンテンツ産業

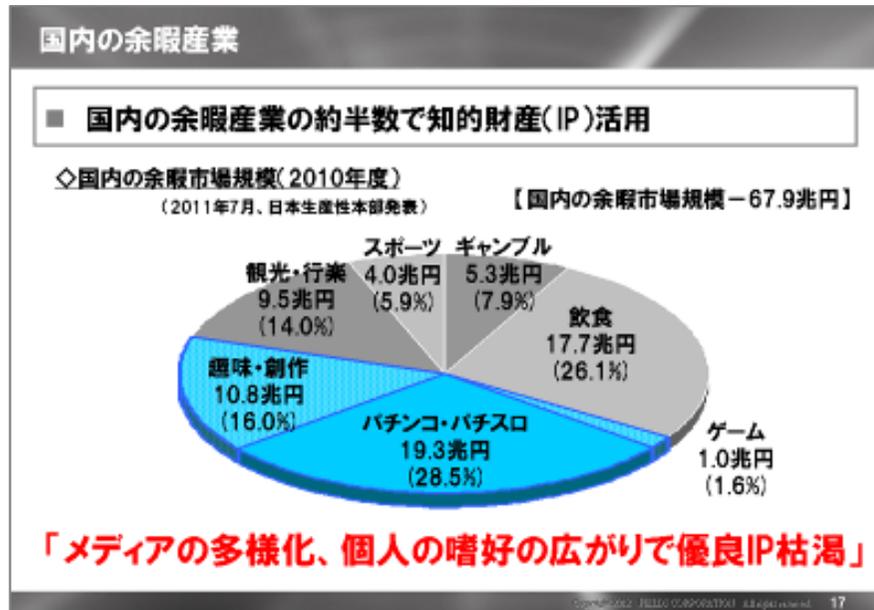


⇒ 説明会資料 16ページ

経済産業省は、コンテンツ産業の市場規模が2020年に20兆円に達すると見込んでおり、同産業を次代の重要産業と位置付け、大きく期待しています。

3. 中長期的な成長に向けて

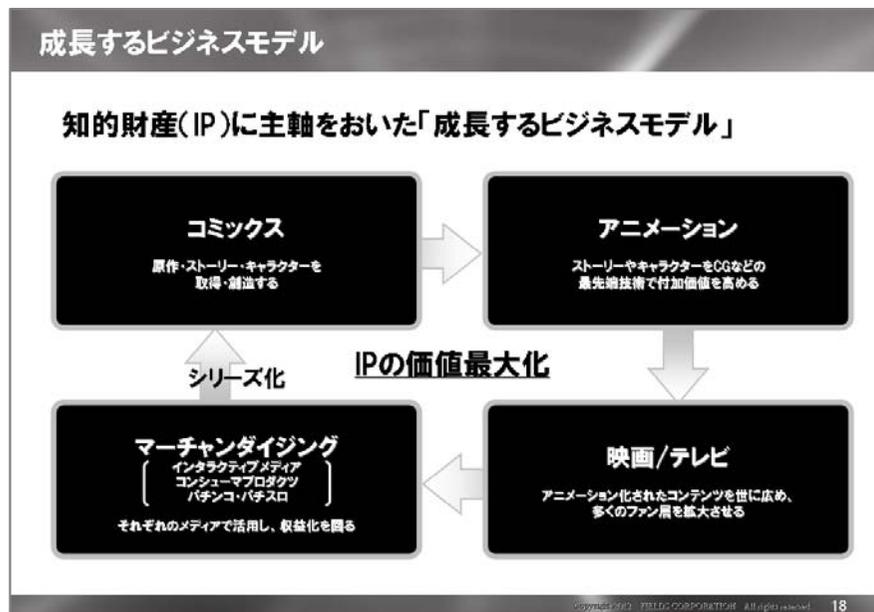
■ 国内の余暇産業



⇒ 説明会資料 17ページ

左のグラフの通り、2010年の国内の余暇市場規模は67.9兆円で、パチンコ・パチスロやゲーム、趣味・創作などでコンテンツは広く活用されています。

■ 成長するビジネスモデル



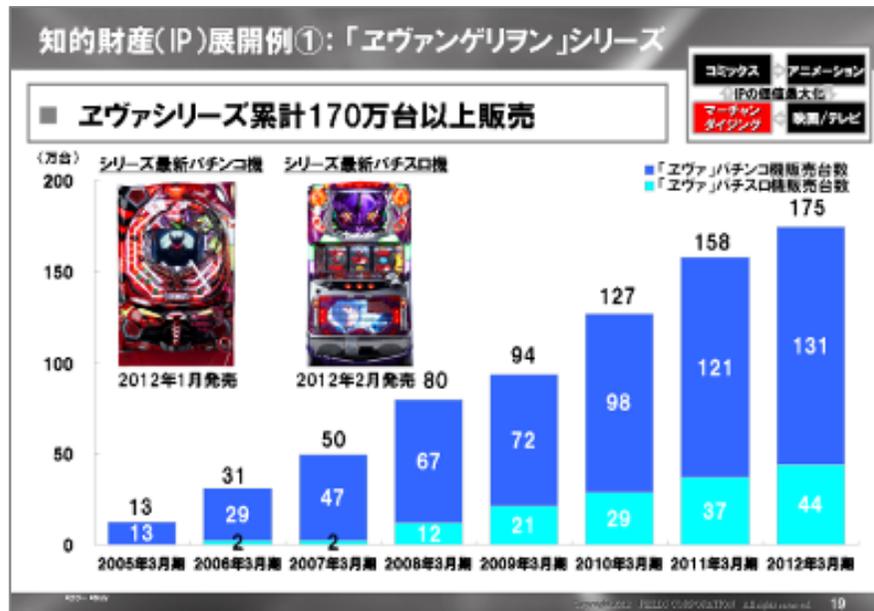
⇒ 説明会資料 18ページ

当社は、上場来のビジネスモデルから、知的財産に主軸を置いたビジネスモデルへの戦略転換を企図し、上場10年目、設立25周年を迎えるこの機に、次の四半世紀を見据えた「成長するビジネスモデル」として戦略を整理・構築し、さらなる成長・発展を期しています。

本モデルでは、コミックス、アニメーション、映画/テレビ、マーチャンダイジングの4つの枠組みで、知的財産の価値最大化を図っていきます。

3. 中長期的な成長に向けて

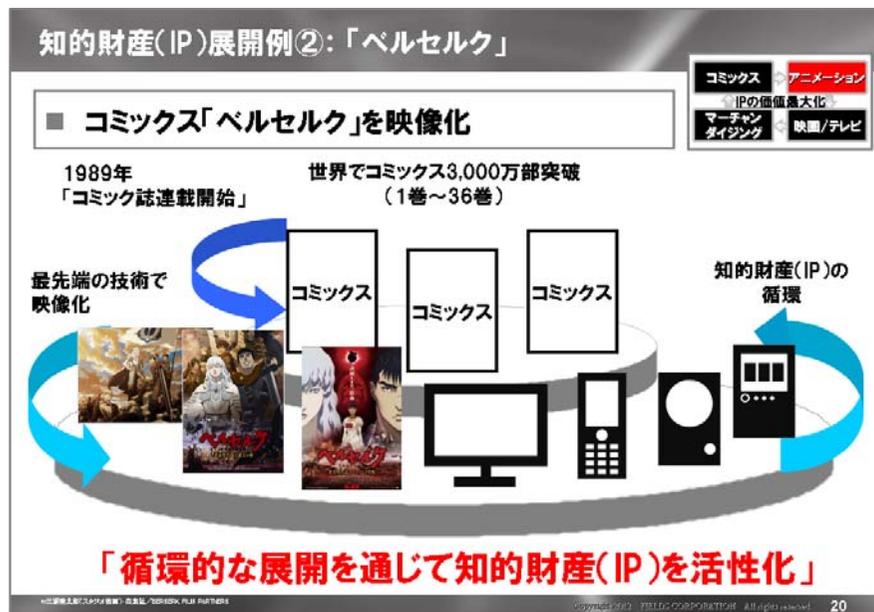
■ 知的財産(IP)展開例①:「エヴァンゲリオン」シリーズ



⇒ 説明会資料 19ページ

左のグラフの通り、当社が発売した「エヴァンゲリオン」という知的財産を活用した遊技機は、2004年にパチンコ機13万台、現在までパチンコ・パチスロ機シリーズ175万台以上を販売しました。

■ 知的財産(IP)展開例②:「ベルセルク」



⇒ 説明会資料 20ページ

当社は、コミックス「ベルセルク」を、最先端の技術を活用して映画化しました。2012年2月に第1部が公開され、6月から第2部が公開予定です。将来的には、ソーシャルゲームやパチンコ・パチスロ、グッズの販売などで利益の最大化を図っていきます。

3. 中長期的な成長に向けて

■ 知的財産(IP)展開例③:「ウルトラマン」



⇒ 説明会資料 21ページ

当社は、2010年に円谷プロダクションを子会社化し、「ウルトラマン」という知的財産を多くのメディアで展開しています。昨年、中国の約1,000館で映画を公開し、これまでの邦画の記録を更新しました。今後は、世界的なコンテンツとしてウルトラマンを成長させるため、有力パートナーと協力して様々な施策を推進していきます。

■ 知的財産(IP)創出例:「ヒーローズ」



⇒ 説明会資料 22ページ

当社は、知的財産の創出に向けて、2010年4月に小学館クリエイティブと共同で出版会社を設立し、2011年11月に「月刊ヒーローズ」を創刊しました。今後も、パートナー企業と連携し、新たな知的財産を生み出す取り組みを推進していきます。

3. 中長期的な成長に向けて

■ 最後に

最後に

**知的財産(IP)を中心とした
ビジネスへ変化を遂げよう**と挑戦

ステークホルダーの皆様にご共感いただき、
ともに大きな成長を目指す

企業理念「すべての人に最高の余暇を」
の実現に向けまい進

23

⇒ 説明会資料 23ページ

当社は、知的財産を中心としたビジネスへ変化を遂げようと挑戦を続けています。

そして、ステークホルダーの皆様にご共感いただき、ともに大きな成長を目指すとともに、企業理念「すべての人に最高の余暇を」の実現に向けまい進していきます。

当社にご興味を持っていただいた方、またご不明な点がございましたら、お気軽に直接お問合せください。

〈お問い合わせ先〉
フィールズ株式会社
コーポレートコミュニケーション室IR課
TEL: 03-5784-2109
E-mail: ir@fields.biz

〈スピーカー〉
大津会場・鳥取会場
執行役員 コーポレートコミュニケーション室長
畑中 英昭